

越谷も

YES, WE CAN.

「やればできる」

発行日: 2010年9月30日

発行者: チーム白川

No.5号

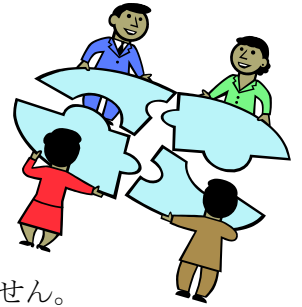
事務所: 越谷市大里 226-1
TEL/FAX 048-970-8005

『トライ&チャレンジ』 Try & Challenge

タウンミーティングに参加してみませんか?

越谷の YES, WE CAN. Part IV

あなたは越谷市が使うお金(税金)の順番を知っていますか。越谷を一番よく知っている役所の人たちが立てた計画が600事業あります。事業はどれをとっても必要がないということはありません。でも収入に限りがあるとき、お金を使う順番を決めなければなりません。順番から外れた計画はなぜ外れたか、どうして優先順位を下げられたのかの説明を市民に納得してもらわなければなりません。



あなたは越谷市が「何かをやるために、何をあきらめたか」を知っていますか。越谷が今どうなっていて、将来どうなりえるか。市長から発信される政策は市長選時に有権者と約束したマニフェストが判断材料になります。今年度予算のうち、マニフェスト実行のための予算はいつどの時点で執行されていくのか、市民への報告として確認をしていくことで、行政への信頼が増していくことになるのではないのでしょうか。

市民一人ひとりの政治参加が望まれ、参加が保障されているシステムが構築されている実感がまだまだ薄いように感じています。越谷を今のまま放置して「自立した町」になっていくのでしょうか。2,000億円ある債務を市長はどうしようとしているのか、越谷市との絆が強くなっていく実感がありません。

「チーム白川」が月1回開いているタウンミーティングは越谷における課題を相談し合える場として開催されています。参加して意見交換してみませんか?(西川)

● 連絡先: 越谷市大里 226-1・「チーム白川」オフィス Tel・Fax 048-970-8005 事務局「岡村」090-3342-3064 まで

■ 第83回タウンミーティング-H22.7.24

- イノベーションが始まった参議院選挙
- ー 越谷市が抱える問題との関係とはー

白川議員からの参議院選挙の結果報告を受けての討議では、活発な意見がたくさん出され、越谷における一歩前進は確実な歩みになっていることを改めて感じました。真剣に討議をし、真剣に悩み、どこか予算を削り、どこに税金を集中投入するのか。衆議院と参議院の「ねじれ」を、日本を良くしていくための変革の力に変えていきたいと思いました。



◆ 第85回は9月19日(日)午後2時より行われました(次号に掲載します)。

■ 第84回タウンミーティング-H22.8.22

- 歯科医師会の活動と地域医療

ゲスト: 日高健二 日高医院院長
歯科医師として地域医療に責任を持っておられる日高院長をお招きして、とてもためになる歯の話をお聞きました。8020運動(80才で20本の自分の歯を保つ)から、8020社会へと飛躍せんとする活動は、「治療より予防」をしてあげたいという気持ちを社会全体で医療課題の解決へと向かう道であり、まさに社会活動であると思いました。



立場はそれぞれありながらも、どのように社会に責任を持つようになっているのかがよくわかる、感動的な歯の話でした。

◆ 次回第86回は10月23日(土)午後2時から行います。

● 日高先生のお話を聞く

グラウンドゴルフ

【シリーズチーム紹介】 さくら会

創立7年目、会員数は35名。代表は石川義介氏から藤家久良三氏にバトンタッチした。「さくら会」というクラブ名の由来は、北越谷のさくら並木にちなんでつけられた。練習日は毎週月・火で、3ヶ月に一度大会を開催している。場所は黒田球場を使用。がんばろう越谷大会へは、毎回参加クラブ中最多動員の参加をさせていただいている。

義に熱い方々が多く、クラブの雰囲気はいつもにぎやかで活気に満ちており、大会準備も率先して分担していただいている。



第20回グラウンドゴルフ記念大会が9月15日(水)160名の参加で盛大に行われました(次号に掲載)。

■ みんなの党の応援に参加して

今年の参議院選は本当～に悩みました。

正直、みんなの党を支持しているという訳ではありませんが、自分なりに政策、候補者、支援者を見て選び、応援に参加しました。

今の政治に「大きなNOを！」という思いを、強く持っていた結果でもあります。

ボランティアへの参加は、意外にも自分と同じような年の方ばかりで、横並びのコミュニティーが形成されていたのには驚きました。

政治という堅苦しさではなく、学園祭の様な高揚感も感じられました。

「こういう時代なのか・・・」と新鮮な思いです。

比例での快勝をみると、マスコミのアピールもありますが、自分と同じような思いを持っている方が多いはずです。

皆さんはどうでしょう、お任せ政治で本当に安心できますか？

「主権者不在の時代は終わった」と感じませんか？

私達も意見を、もっと声に出して行かなくてはならない時ではないでしょうか。

今の政治は、どうにも若年層は忘れ去られている気がしてなりません。

■ まだまだ若いよ 33才(岡田)



● 結城准教授

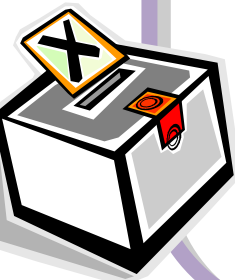
■ 「第3回政経セミナー」に参加7/12

▶ テーマ：社会保障制度改革と自治体の課題

一年金・医療・介護をどう変えるかー

越谷市在住の結城准教授、淑徳大学准教授のお話を聞きました。民主党政権の子育て支援策が「現金支給」であることの問題点が指摘され、それぞれの自治体のニーズに応じた「現物支給」を含めた制度設計が必要であることが語られました。また、介護等の社会保障が右肩上がりの成長が終わり、高齢化が進む時代の雇用政策に直結しており、経済政策に繋がるため、自治体にとって重要な課題であることが提起されました。

◇ 第4回は9月24日(金)に行われました。次回第5回は11月に開催予定です。



■ 「第4次総合振興計画基本構想(素案)」への桜井地区の取組み

来年度から10年間の越谷市の指針となる上記計画の策定が進められています。桜井地区での計画に取り組んできた連合自治会副会長の伊藤幹夫氏にお話を伺いました。(岡村)

☑ 市の計画に対して、唯一桜井地区から提言書を出されたと聞いていますが？

連合自治会とコミュニティー推進協議会による「桜井地区まちづくり会議」を設置して、平成21年7月～10月にかけて5回の会議を行い、狹隘道路の拡張・バス路線の充実、災害時の避難所となる小中学校の防災施設整備・耐震化促進等の提言をまとめた。

☑ 8.29の「市長ふれあいミーティング」はいかがでしたか？

連合会長からバス路線の整備等4項目、私から小中学校耐震化計画等3項目質問した。市長から回答があったが、耐震化が100%完成するのが平成27年ではお悪いと思う。

☑ 桜井地区で取り組んで来られた感想はいかがですか？

提言書に対する市からの回答書が出され、市長ミーティングでも質疑が行われたことで市民参加が一步進んだと思うが、十分な討議が行われてはいない(再質問なし)ので、地域からの意見・要望が反映されるか疑問である。議会での十分な討議が必要だと思う。

● 市長ふれあいミーティング風景



編集後記

◆ 今回から、「越谷がどうなっており、どうなり得るのか」という現実の姿を明らかにすることに心がけて記事を作ることにしました。私達が使い込んだ、年間予算1,400億円より多い2,000億円の借金をどうやって返済していくのか、他人のせいにして子供や孫の代に借金の請求書

を回す訳にはいきません。一緒に考え、道筋を作り、次の世代にバトンタッチできるように致しましょう。(岡村)